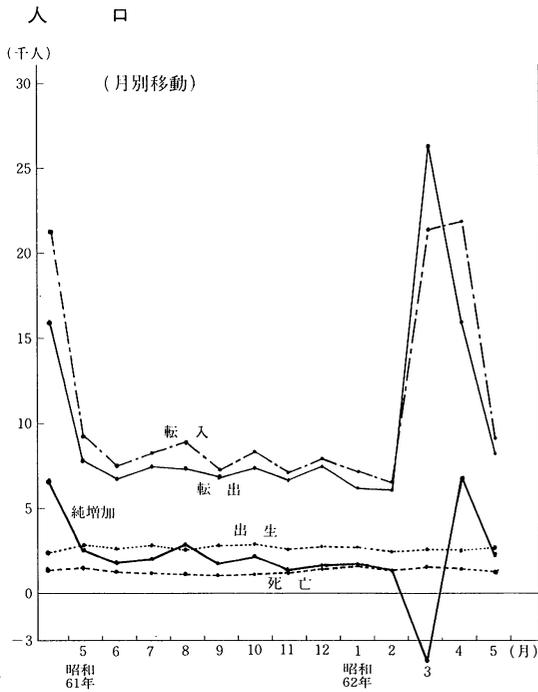
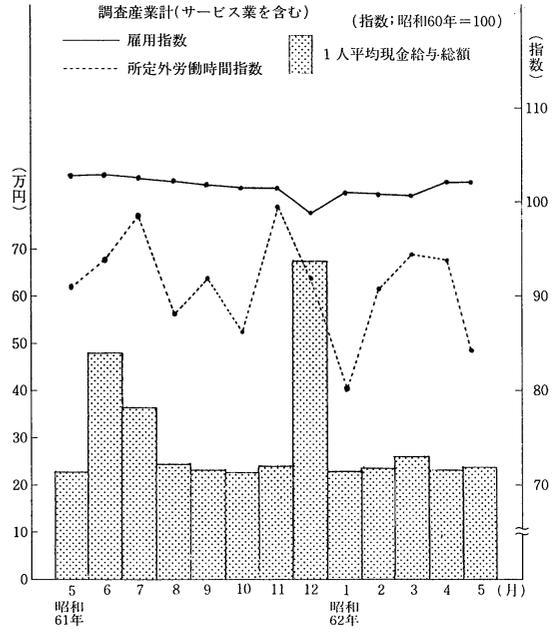


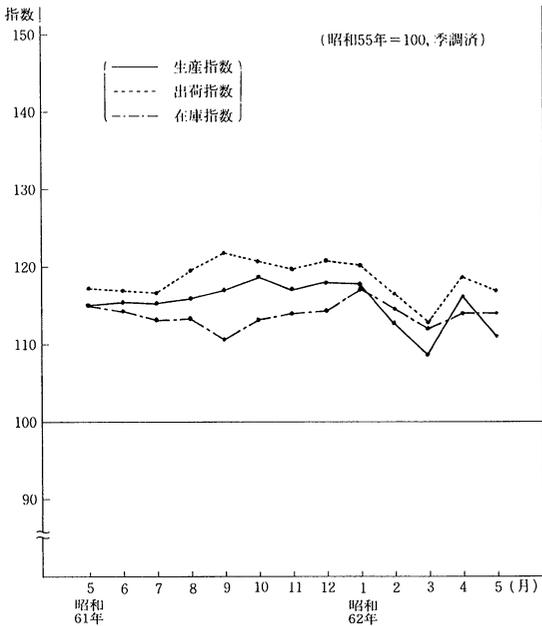
今月の主な動き



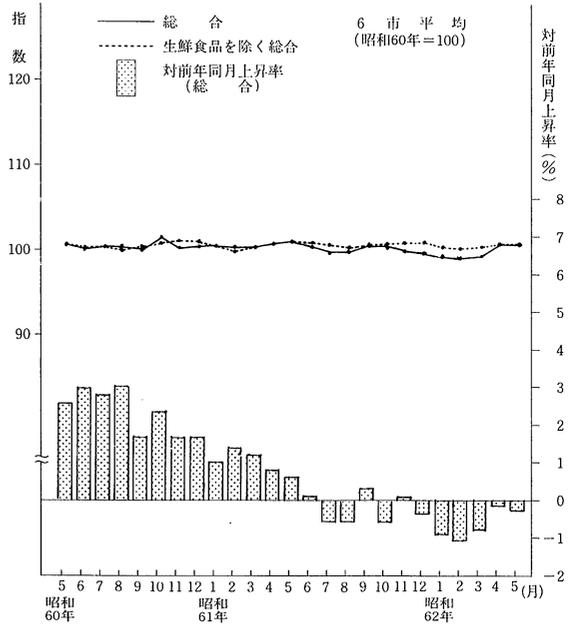
賃金・労働時間・雇用



鉱工業指数 (生産・出荷・在庫)



消費者物価指数



主な動きのあらまし…………… 企画部 統計課

■ 人口(6月1日)

本県の人口は、5月中に2,295人増加し、6月1日現在で2,760,431人(男1,376,001人、女1,384,430人)となった。

内訳は、自然動態で1,343人(出生2,792人、死亡1,449人)、社会動態で952人(転入9,212人、転出8,260人)、それぞれ増加した。昨年6月1日現在と比較すると、22,911

人(0.84%)の増加である。

市町村別では、増加が13市46町村、減少が6市25町村、増減なしが2村である。

世帯数についても、1,592世帯増加して、779,281世帯となった。

■ 賃金・労働時間・雇用(5月)

1. 平均賃金の推移

5月の常用労働者1人1ヵ月平均現金給与総額は240,510円で前月に比べ1.0%増(前年同月比1.9%増)であった。

このうちきまって支給する給与は235,589円で前月に比べ0.3%減(前年同月比1.8%増)であり、特別に支払われた給与は4,921円で前年同月に比べ433円増であった。

2. 労働時間

総実労働時間数は169.6時間で、前月に比べ6.6%減(前年同月比2.0%減)であった。

このうち所定内労働時間数は154.3時間で、前月に比べ6.2%減(前年同月比1.4%減)であり、所定外労働時間数は15.3時間で、前月に比べ10.5%減(前年同月比7.3%減)であった。

3. 雇用の動き

雇用の動きを雇用指数(昭和60年=100)によってみると102.4で、増減率は前月に比べ0.1%減、前年同月に比べ0.6%減であった。

■ 鉱工業指数<生産・出荷・在庫>(5月)

本県における昭和62年5月の“鉱工業指数”(昭和55年=100)は、季節調整済指数で、生産が110.9、出荷が117.0、在庫が114.1で、前月比は、生産が△4.3%の低下、出荷が△1.3%の低下、在庫が横ばいであった。前年同月比(原指数)は、生産が△3.4%の低下、出荷が横ばい、在庫が△0.6%の低下であった。

業種別に前月比をみると、生産では、化学工業、一般機械工業、木材・木製品工業等が上昇し、輸送機械工業、鉱業、精密機械工業等が低下した。出荷では、一般機械工業、

鉄鋼業等が上昇し、鉱業、輸送機械工業、精密機械工業等が低下した。在庫では、鉱業、石油・石炭製品工業、電気機械工業等が上昇し、精密機械工業、輸送機械工業、一般機械工業等が低下した。

特殊分類別にみると、生産では、耐久消費財が上昇し、非耐久消費財、資本財、その他用生産財等が低下した。出荷では、鉱工業用生産財等が上昇し、建設財、非耐久消費財等が低下した。在庫では、耐久消費財、建設財等が上昇し、資本財、非耐久消費財が低下した。

■ 消費者物価指数(5月)

昭和62年5月の茨城県消費者物価指数は、総合で100.8(昭和60年=100)となり前月と同じであり、前年同月比△0.2%の下落となった。

今月上がった主な項目……果物11.5%、衣料3.8%、シャツ・下着3.7%、調理食品0.3%

今月下がった主な項目……野菜・海草△6.6%、教養娯楽耐久財△3.0%、乳卵類△2.2%、家庭用耐久財△1.1%、生地・他の被服類△0.4%

生鮮食品を除く総合は101.0となり、前月比0.1%の上昇、

前年同月比△0.2%の下落となった。

費目別指数

(昭和60年=100)

区 分	指数	上昇率(%)		区 分	指数	上昇率(%)	
		対前月	対前年同月			対前月	対前年同月
総合	100.8	0.0	△0.2	保健医療	102.9	△0.1	1.1
食料	99.4	△0.6	△0.8	交通通信	101.2	△0.1	1.8
住居	104.4	0.2	2.1	教育	110.1	0.1	5.3
光熱・水道	89.8	△0.1	△10.1	教養娯楽	101.6	△0.2	0.0
家具・家事用品	99.3	△0.3	△0.5	諸雑費	102.9	△0.1	△0.1
被服及び履物	104.7	2.6	1.1	生鮮食品と総総合	101.0	0.1	△0.2